

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦
幹事 村上 堅二



第1797回例会

令和6年3月14日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 佐藤幸彦会長 (ホームミーティング報告、ありがとうございます。まだまだ寒い日が続きますが、お身体に気をつけて!!)
- 村上堅二幹事 (本日はホームミーティング報告ありがとうございます。)
- 鈴木孝幸会員 (4月に待望の新入社員が弊社に入社してくれる事になりました。大切に育てていきたいと思えます。)
- 増子国安会員 (ホームミーティングでは、久しぶりに楽しいお酒を飲ませていただきありがとうございます。)
- 金田昇会員 (先日は、増子会員の班長でのホームミーティング楽しく過ごせました。)
- 永野文雄会員 (ホームミーティング発表の皆様、ありがとうございます。)
- 永山龍太郎会員 (初めての班長で、スケジュール調整は失敗してしまいました。JCのOBでありながら、ごめんなさい。)

【第9回理事会】

協議事項

(1)観桜会の件

4月25日、スバリゾートあぶくまで開催。参加費4,000円で承認

(2)ロータリー旗新規購入の件

ロータリーマークの記載変更に伴って新規購入¥44,000で承認

(3)女性会設立準備会の件

4月1日、ブルーミングカフェで開催富岡RCの西山様を講師として開催。委員会予算44,000円で承認

(3)女性会設立準備会の件

4月8日、グランドエクスプロ那須白河で交流会を開催。午後3時から深谷市長が白河市長訪問、シスター委員会より30,000円の子算で承認

【今週の仮メイクアップ会員】

●2月27日 次年度理事初顔合わせ会

阿部克弘、十文字光伸、寺島由和、矢田部錦四郎、山口治、安部和夫、諸橋和典、吉田充、金田昇、中目公英、佐藤幸彦、居川孝男、前原俊治

▶第1797回例会出席状況

(R6年3月14日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	50名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	69名
Ⓒ ①の出席者数	23名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	34名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	55.7%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんばんは。まず初めに、皆さんのレターボックスに地区大会記録誌が入ってたかと思うんですが、これの41ページをご覧ください。41ページに、石黒秀司パストガバナーの欄があるかと思うんですが、1番2024-25年度ガバナーノミニ、2026-27年度ガバナー選出についてということで、その3行の下に白河西ロータリークラブより推薦された金田昇会員との面接を行いました。それを慎重に審議した結果、ガバナーノミニ候補者として金田昇会員を選出したことをご報告いたしますということで、これは昨年度も地区大会の後、皆さんにご報告したと思いますがちゃんとこのような記録誌に載って今日皆さんのお手元に着いてると思います。あとでゆっくりご覧になっていただきたいです。さて、今日は3月14日ということでホワイトデーでございますね。これは九州のとあるお菓子屋さんが始まったといろんな説がありますが、2月14日のチョコレートのバレンタインデーのお返しものということで始まったとございます。私、結婚して30数年になるんですが、今まで3月14日って女房に何もやったことがなかったものですから、今日この挨拶をするために、ここに来る前にちょっとケーキを買って女房に届けてからここに来ました。女房が「えっ、どうしたの。」なんてことで喜んでくれたのかなと思います。皆さんもまだやらない方はこれからでも遅くありませんので、奥様に是非ケーキでも花でも買って行っていただければと。また、女性会員におきましては旦那さんに私まだだよとかね、催促するの一手で夫婦円満になっていただければと思います。さて、3月14日ということで、もう一つありまして、3.14といえば皆さん学校の時教わったと思うんですが、円周率の3.1415なんとかです。円周率記念日だたございませう。これは日本数学検定協会が定めてある正式な円周率記念日ということだたございませう。その他にも毎日毎日いろいろな記念日というのがあるんですけども、それは今はネットで見ればすぐ出てくるので、皆さんも見るのも一つの楽しみかなと思っております。さて、今我がロータリークラブではホームミーティングいろいろやってるかと思うんですが、班長さん並びに書記の皆さん、大変お疲れ様でございます。前にも言ったかと思うんですが、このホームミーティングやっているロータリークラブというのは結構そんなに多くはないんですね。しかも、年に2回もやってるというのはこの白河西ロータリーならではと思っております。そのホームミーティングをやることによって、会員と会員の親睦が深まり、さらに活性化に繋がっているかなと思っておりますので、是非このホームミーティングで親睦を増したかと思っておりますので、より良い楽しいロータリーに

なることを期待しております。今日はホームミーティング報告ということで、書記並びに会員の方いらっしゃると思いますけども楽しい報告を、また今後の課題、議題、提案でも結構ですので報告していただければと思います。

■幹事報告

村上堅二幹事

- 福島いのちの電話理事長 丹羽真一：福島いのちの電話をご支援いただいている皆様へ
- 白河赤十字奉仕団委員長 安澤壮一：奉仕団団員の報告について
- 白河南RC会長 鈴木清次：白河南ロータリークラブ週報の送付について
- ガバナー事務所 芳賀美宝子：地区補助金可能額について
- ロータリーの友事務所：2024-25年度（新年版）ロータリー手帳お買い上げのお願い
- 株オクトン：カタログ送付のご案内及び商品価格の改定について
- 比国育英会バギオ基金会長 浅田豊久、幹事 酒井教吉：「バギオたより」配布のお願い
- ロータリー米山記念奨学会事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま288号

■本日のプログラム

ホームミーティング報告

○第1班

緑川直人会員



皆様、改めましてこんばんは。第2回ホームミーティングの発表をさせていただきます。第1班、長班長、石部様、宮本様、吉田様、山縣様、石川様、以上の人数で開催いたしました。3月5日火曜日6時半より、白河中町の「楓」さんでやらせていただきました。その際、山縣さんのほうが素晴らしい資料を作ってきていただきまして、その資料を基に皆さんで大変実になるお話をさせていただきました。その資料はこれだけの厚さになっておりますので、興味ある方は見ていただけてすごく為になると思います。話した内容なんですけども、まずこのテーマとしてテーマの1「みんなが楽しいロータリーにするためにはどうしたらいいか」ということのテーマに関しては、これはまず自分が楽しむことが大切なんじゃないかなという、それは皆さんの共通した意見として出てまいりました。あとは、その情報発信、何をやってるのかというものをフェイスブックなりラインなり、そういったものを活用してどんどん発信していくことによって、今の活動に自信を持つとか、そういったような広がり、何をやられているのかという理解も得られるんじゃないかという意見も出ました。ただ、その中で肖像権使用同意書とかそういったものを現在取っているかどうか私はわかりませんが、そういったものを取っていくことも今後諸々デリケートな時代ですので大切なのではないかなと思います。家族交流とか諸々ありますが、その会話の中で私がドキッと

した一言が、お家の人にはあなたはロータリーに入っているそれに対して説明できるかと言われた時、私は全くできないなど。子供たちに夜ちょっと遅いねって出てくるんですけども、その時何やってんのと言われても、うーん、そうだね、そうだね。小学生の子供に地域貢献と言ってもピンとこないですよ。ただ、具体的に何やってると聞かれると、うん世界に子供たちの為にねとか言うんですが、やはり実になってない言葉なのであまり伝わらないというのが今であって。あと、奥さんに対してもあまり大きく揺れないのが現状なので、こういったさっきの発信とか、クリスマス例会、納涼例会とかの家族交流とか、そういったものでちょっと小出しにしていけば、家族の理解も得られるし近隣住民というか皆さんにも理解が得られやすいのかなと感じました。あとは、この山縣さん入ってきていただいてまだ間もないと思うんですが、だからこそその鋭い意見というか、私どもハッとさせられる意見沢山いただいた中で、各団体諸々あると思うんですが、そちらから引きずりで入会されてる方が西は多いんじゃないかな。そうすると、何も所属していない人がボンと入って来た時に、ちょっと肩身が狭いような気もする。そういったことは全くないと思うんですが、そういった意見も出ました。それが良し悪しではないと思うんですが、じゃあそのフォローをどうやっていくかということも大切なと思いました。あとは、ずっとやっておられたことだと思うんですが、5分間スピーチというものがあったのかどうかなんですけど、これ年30回くらいはこの5分間スピーチでこちら会場に来られた誰かに5分間きっちり喋っていただく。そういう機会を持つことによって、ただ来てご飯を食べて帰るというよりも、緊張感を持ってこの会に挑めるのではないかと意見も出ました。この日、雪だったんですけども話はずいぶん盛り上がりまして、寒い中帰らせてはいただいたんですが、その雪に負けなくらいに熱気のある会話であつという間の時間を過ごさせていただきました。その中で、ちょっとこれは誤解のないように聞いていただきたいんですが、会長とかそういう要職に就いた方々が退任する年度替わりで代わっていく、そうなった時にそうなった方々の経験とかそういったものはとても大切だし、新入会員含めそういった人に対して教育をしていたら、すごく力になると思うんですね。ですから、そういった意味でももちろん会長を経験された方、要職を経験された方々は新人教育という部分に力を入れていただければ、この会も益々盛り上がりつつあるのではないかなと思います。つたない説明でしたが、以上となります。ありがとうございました。

○第4班

永山龍太郎会員



皆さん、こんばんは。それでは、4班の報告をさせていただきます。3月4日月曜日、高島パスト会長のお店であります「赤門」で18時30分から、わたくし永山班長、池田会員、大竹会員、書記櫻岡会員も4名で行いました。他の4班のメンバーについてはJ CのOB会も当日にあり、多くの欠席者となってしまいました。ここを持ってお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。初めて班長に任命いただいて、メールを見ているのかということのお電話で促していただきました櫻岡会員、本当にありがとうございました。開催日の決定につきましては、先ほども申し上げましたようにいろいろなことに注意をしなければいけないんだということをお願いさせていただき、かつ少ない参加者の中でスタートしましたので、内容は「みんなが楽しいロータリーにするのはどうしたらいいか」についてノンアルコールでスタートし、終始4人だけのホームミーティングは初めてだとディスられながら、時折高島パスト会長にも参加いただき、我慢していたのに途中からアルコールを飲まなきゃいけないというような和やかな雰囲気の中行わせていただきました。本題に入ります。池田会員より、やはりイベント的なものがないのではないかと。ゴミ拾いのような子供たちと触れ合う事業など。また、大竹会員からはあまり家族に負担をかけるような催しものはなくしたほうがいいのではないかと。例えば、昔やっていたホームミーティングを自宅で開催し、奥様に負担をかけたというようなこともあったと伺っております。そうして会話になりましたのは、やはり参加型の事業が一番いいんじゃないのかということ、思い思いみんなで発表しました。まともな話はこのくらいでして、他は現在話題の裏金問題や池田会員の会社のクレーン車が盗難にあつて、戻ってきたのは車のナンバープレートだけだったとか。また、当社「永山産業」のマイクロバスが十数年前くらいですけど、そのまま海外で走行してたとか。そのような事をちょっとテーマから逸れてしまいましたが、楽しい時間を共有させていただけたと考えております。あまりまとまりのない報告で、至らないことが多かった班長初体験ではありますが、第4班の報告とさせていただきます。4班の会員の皆様、本当にありがとうございました。

○第5班

鈴木典雄会員



皆さん、こんばんは。5班のホームミーティングの発表をいたします。5班は3月7日木曜日、日本料理「楓」さんのほうで行いました。白岩班長を筆頭に、わたくし書記の鈴木、佐藤清作会員、居川会員、成井会員、諸橋会員、須藤会員、運天会員の8名で行いました。最初から白岩班長のほうが珍しいお酒を差し入れてくれて、飲みながら食べながらミーティングに入りました。一番目の課題では、家族

の交流の場をもっと増やしてみようか。現在、クリスマス例会、納涼例会が主に家族が参加する例会となっているんですが、その他にももう一つくらい増やしてはどうかという意見が出ました。あと、旅行の企画。例えば、世界大会にクラブとしてみんなで参加してみるのはどうかという意見も出ました。あと、地域に地域活動を知ってもらうということで、野球大会以外に白河西ロータリー杯をもう一個くらい作ってみようか。例えば、モルックなど。そして、現在楽器とかの寄付をしているので学生にかなり認知はされているのではないかとということで、今度はコンクールのものを作ってはどうかという意見も出ました。それと、ロータリーでロータリーの仲間と飲むのが一番楽しいので飲みニケーションが必要だという意見も出ました。自由課題のほうでは、今現在のなんか気になることが結構意見として出てきて、現在人数が増えて連絡が雑になってきているように感じられて、今回のホームミーティングの場合、班長には直接連絡して確認を取るなど気配りが必要ではないか。班長が決まったら早めに班長に連絡する方がいいんじゃないかという意見があり、人数が増えて連絡が雑になりがちだけど、雑にならないように気配りを持って連絡するのがいいんじゃないかという意見も出ました。先程、永山会員のほうからホームミーティングは家でやって大変だったということを言ってたんですけど、うちの班では昔はホームミーティングを自宅でやっていて4~5人くらいでやっていて、その時妻や子供など家族が参加したりして楽しくできたので、家でやるようにしてはどうかという意見が出ました。現在のように8人とか7人ではなく4~5人程度の人数で家でやるのはどうかという意見が出ました。あと、ゴルフコンペなどもメーキャップできるようにしてはどうかという意見も出ました。最後になりますが、今回私たちの班で参加された重鎮の方から、是非金田さんのガバナーの姿を見たいという言葉で締めくくって、楽しくミーティングを終了することができました。

○第8班

吉成真五郎会員



皆さん、こんばんは。8班の発表をさせていただきます。ちょっと来週、仕事で来れないものですから、先にやらさせていただきます。8班なんですけれども、3月8日「アジアンチャオ」さんのほうで開催いたしました。班長が益子国安さん。山口さん、関谷さん、金田さん、わたくし、藤田龍文さん、鈴木浩一郎さんというメンバーで会を開きました。楽しい例会というテーマで話が始まったんですけども、例会の時にですね、毎回食事をして今日も美味しく皆さんいただいたと思うんですけども。なんかちょっと楽しいテーマとか食事にあったら面白いんじゃないかというお話が出まして。贅沢な物を食べるんじゃないから、例えばおにぎりとか豚汁みたいなシンプルな物でもいいから、なんかこうちょっとこだわりがある、例えば具

沢山のカレーライス一皿みたいなのもいいから、こだわりがあるようなテーマ。関谷さんもいらっしゃいましたが、関谷さんのお野菜を使った食事とかいうような、なんかそういったこだわりのある食事とかを皆で考えて楽しい食事ができるというふうになると、みんな楽しみに例会に来れるんじゃないかというようにお話がまず出ました。それから、例会の回数ということでちょっと話題が移りまして。なんか白河ロータリークラブさんが今度、月3回になるというように話が出たんですけども。何回がいいのかというように、ちょっと話題にもなりまして。4回というのは少なくともいいな、いや4回というのはいいよねと。もっと多くてもいいんじゃないのかなと、8回でもいいんじゃないのかな、月8回というように話も出て、究極には、いや365回やった方がいいんじゃないのかと。毎日やればどこかで出るだろうみたいな話もありまして。次年度の会長には検討していただければと思います。金田さんのほうからお話あったんですけど、今、世界のほうも単年度ですけどもそれがなんか3年周期というか、一つのテーマを3年追いかけるみたいな形になっていくかもしれないよというようにお話も出ました。そしたら、昇さんも3年間ガバナーやるんですかって言ったらいいよとは言いませんでした。やるわけないだろって言われました。私は親睦委員長だったので、関谷さんのほうから前にジョン・ナイリンさんが来た時の設営の話になりまして、あの時なんか普通の食事だったんですけど、本当は懇親会にするはずだったのがちょっと国際交流の諸橋君と私の間でなんかお互いにやってんじゃないかくらいの感じで、ちょっと設営ができてなくて皆さんに大変ご迷惑をおかけしちゃったんですけども。やはり、そういった意思疎通というのがやっぱりすごく重要なので、私としても反省を含めながら、全体的にどっちかがやってるんだろというように運営にならないように今後もしていきたいなというふうに感じました。それから、今度結婚記念日のお祝い、今年クッキーなんですけど、また親睦委員会が関係しちゃうんですけど。今年クッキーですけども、ある某金田さんの奥さんから、お花のほうがいいなというふうなお話がありまして、なんか昔はそういう時もあったということで、次年度以降ですね、お花とかなんか記念品みたいなものがあったということも聞きますので、ちょっと新しい切り口というんですかね、皆さんの意見をいろいろ聞くのもいいかなと感じました。それから、最終的にというか職業奉仕という話題になってきて、増子君の会社のお話だったんですけども、79歳の方を新規雇用してもう79歳の方で何を最初仕事するのかなという感じだったんですけど、その方は今、週5日でしたっけ。最初はちょっと少ない日にちだったんですけど、今はもう週5日来るようになって、今83歳ということで4年間お勤めになってるそうです。その方は、この会社をゴミ一つ落ちてない会社にするのが私の目標だと言って勤められていらっしゃるそうです。なんかこうロータリーの心にも通じたすごく、それを雇った増子君の所もすぐ

いし、それを継続してちゃんと勤め上げてその方も大変素晴らしいなというふうに思いました。それから、これ関谷さんのお話で「積善の家に余慶あり」という言葉があるんだよということを教えていただきました。積善というのは善を積む、ですね。家はホームで、余慶というのは余分な慶事というんですかね、慶びがある。いつも良いことをしている家には、だんだんに素晴らしい幸運がやってくるんだよというお話をいただきました。やはり、それがロータリーの神髄に共通してるんだなというふうに思いました。良い言葉を教えていただいたと思いますので、皆さんに共有させていただければと思います。今日、来る前にネットでこの言葉を調べたんですけど、中国の古典の易経にある言葉だということで、こういった古い易経の言葉をご存じな関谷さんにも大変敬意を持ちました。またちょっとその流れで、また増子君なんですけど増子君は背広に「刻石流水」という四文字を毎回刻んでるというお話がありまして。刻石流水というのは、刻む石、流れる水で刻石流水なんですけど。これもちょっとネットで調べたんですけど、かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻めと。やはり素晴らしい心構えだなというふうに思いました。楽しいロータリーにするには、というところなんですけども、私もちょっと歴史が好きでいろんな本を読んでるんですけど。感じるのは、昔の人はやっぱりすごい苦勞を皆してるんだな、室町時代とか、戦国時代とか、応仁の乱の時代とか、昭和の戦争の時もそうですけども。でも、こういった素晴らしい日本にさせていただいたというのは、本当に先人のおかげだと思います。やっぱり、この同じようなもっと素晴らしい日本を次世代に繋いでくというのが私たちの役目だと思うんですけども、やはりその先頭を立てリーダーシップを取ってくというのがロータリーなのかなと。やはり、そこで子供たちの次世代の笑顔が見れるというのが、本当の楽しいロータリーになっていくんじゃないのかなというふうに私の中でちょっとまとめました。これで8班の報告をさせていただきます。ありがとうございました。

○第6班

山田顕一郎会員



皆さん、こんばんは。6班の発表をいたします。6班は、わたくしが班長で、渡部勝也会員、安部和夫会員、阿部克弘会員、齋藤孝弘会員、十字光信会員、大住由香里会員、書記の寺島会員と全員出席で、3月11日「楓」さんのほうで開催いたしました。テーマ1「みんなが楽しいロータリーにするためには」ということで、寺島会員のほうがほとんど書いていただいたことだったんですけども、現在70名の会員がいると。組織が大きくなれば大きくなるほど全員参加が難しいので、以前からよく言われてるんですけども愛好会を増やしたりとか。ただ、ハードルは低くということで、初期費用が抑えられて年齢を問わない大きいランニングを定例会とかにも入れて、歩く本当

の移動例会みたいなのをやってもいいんじゃないかとかです。あとはやっぱりこの前のクリスマス例会の時にメンバーで会員でバンド活動をやったということで、そういう愛好会を作って行って例会、ひいては地域のイベントなどで演奏するのでもいいのではないかという意見が出ました。また、先日の国会の見学の例会がとても楽しかったという声が多くて、そういうのに家族を参加させてみたりですとか。あとは、家族が参加できる例会とかというのは、ハードルを低くして近場で現地集合して帰宅時間も自由とか、一部のみの参加で良いなどというのをやってもいいんじゃないかというのがありました。あと、自衛隊の体験入隊なんていう意見もありました。テーマ1は大体以上で、テーマ2がフリーということだったので私のほうから、あらかじめ班の皆様にちょっとした健康法であったりとか、ちょっとした特技、ちょっとした小話とか、今、自分がちょっとはまっているものなんかあれば話していただければということで準備をお願いしますという形でちょっとお伝えしておったんですけども、その中からこちらで公表できるお話をちょっとさせていただきます。ちょっとした健康法ということで、十文字会員は飯坂でロータリーの地区大会があって、その時講師だった鎌田先生が推奨していた、その時名前はきりしなかったんですけども調べてみたら、かかと落としと言われるちょっと踏ん張るような、かかとを付けて足の指のほうを上げて、今度逆に足の先のほうで地面を踏むような、いわゆるかかと落としと名付けられたような運動を、それを聞いてから続けていらっしやると。また、大住会員の会社のほうでは仕事柄社員の方々が腰を痛めることが多いというので、毎朝の朝礼に1分間のスクワットを取り入れたところ、腰痛の予防に大変役立っているというお話があったりですね。齋藤孝弘会員は毎朝、ストレッチゴムというゴムを使用して20分間ストレッチをやっているというようなお話を聞くことができました。また、ちょっとした小話なんですけど、私の話で恐縮なんですけど将棋のタイトルで竜王とか名人とか王位戦とかってというのがありますが、ご存じの方は知ってるかと思うんですけど。栃木の黒羽って、ここから30~40分行った所に「ホテル花月」というホテルがあるんですけど、そこが王将戦というタイトルの対戦会場なので、1月に藤井聡太さんとか来て対局してるんですよ。2年前にも王将戦で藤井さん対局してるんですけど、その時に必ずそのタイトル戦の時に藤井さんが何を食べたとか、何をおやつに選んだとかというのが話題になって、藤井さんは2年前に来た時も今回も「ホテル花月」が作った栗羊羹を食べたということを知りまして、是非食べてみたいと思うんですけどやっぱり考えることみんな一緒に、何回も電話してるんですけど今3月になったんですけどまだ食べられていなくてですね、もう半年くらいすれば食べられるようになるかなんていう話をちょっとしたんですけど、その話をしたら齋藤会員に大変驚かれました、お前そういう食べ物とか追っかけたりする男なんだねみたいなことを言われて、私もちょっと食べたい

物とかありますという話をしたりしたんですけど。その他に、寺島会員の小話として、今、寺島会員は東邦銀行新白河支店の支店長ということで、東邦銀行新白河支店には今、男女合わせて21人の行員の方がおられるということなんです。その21人のメンバーのうち、産前産後休業、および育児休暇を取っていらっしゃる行員がここ2～3年で常に6人から8人いらっしゃるということで。東邦銀行の拠点は約90店舗あるそうなんですけど、その中でも高い産休育休の取得率を取っている支店だということで。とても縁起の良い支店の支店長をさせていただいて、それを誇りに思ってるというような話をさせていただきました。あとはちょっと各会員得意なことということで、寺島会員はやはりお札数えが得意だということ、100枚を25秒以下で数えられるよう研修で覚えさせられるんですけど、その研修の時にわざと先輩が99枚とか101枚とか渡すんだそうです。それで、ちょっとそういう研修があるというようなお話ですとかですね。齋藤会員はやっぱり米袋ですね、一袋30キロの米袋を昔は3つ余裕で担いで歩くことができた。今でも2袋なら全然いけるというようなお話だったんですけど。その時、ちょっと指を見せてもらったんですけど、やっぱり人差し指と中指と薬指、両手ですね、第一関節から上はちょっとやっぱり職業病で曲がっちゃってるんですね。もし例会とかで隣に座った際は、ちょっと見せていただけたらいいんじゃないかと思います。あと、阿部克弘会員は、ベンチプレスで今は90キロいけるということは結構知ってる方はいらっしゃると思うんですけど。ロータリー会員に初めて披露する話として、福島市立第一中学校でサッカー部に所属していたと。フォワードでレギュラーで県大会優勝、東北大会出場。福島県選抜メンバーに選ばれ、福島県代表として、試合に臨んだことがあるというお話を本邦初公開でさせていただきました。そこから、齋藤会員が昔ラグビーをやっていたというような話があって、サッカーとラグビーのその歴史とか、発祥の地と言われるイギリスではラグビーのほうは実は設備がしっかり整っているとか、やる人口も多いとかいう話を聞きまして、とても勉強させていただきました。最後にマイブームとか、今ちょっとはまっていることとして齋藤孝弘会員なんですけど、現在中国の昔の政治家の周恩来という人の書籍を読んで大変勉強していると。私なんかは全く名前知ってるくらいだったんですけど、齋藤会員曰く、彼が周恩来という人がいなければ、今の日本もちょっと違う日本になっていたんじゃないかと。日本はもうちょっと悪い方向に行っちゃったりしたんじゃないかと。発展が遅れていたんじゃないかと言い切ってもいいくらいの人だそうで。そこで、安部和夫会員が今の中国にもその周恩来のような人がいれば、またちょっと違うんだろかなんていうこうお話を、サッカーとかラグビーの話もそうだったんですけど、その周恩来さんの話といい、なんか栗羊羹が手に入らないなんて言ってる自分が恥ずかしくなるような、とても勉強になるような楽しいホームミーティングになりました。あと最後に冒頭申し

上げましたとおりですね、本日職業奉仕で書記の寺島会員が欠席ということで私が発表させていただいているんですけど、その代わりということで寺島会員が私の代わりに日程調整とか、会員さんのメンバーの連絡を全部自分がやりますということで申し出いただいて、お言葉に甘えて私はお店の予約と当日の進行だけをやらせていただいて、本当に助けていただいて感謝しておりますと伝えさせていただいて、第6班の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○金田昇会員



皆さん、こんばんは。せっかく食事の話ということだったので、食事に対して楽しい食事、美味しい食事、何が一番かという、やっぱり仲間と食べるおにぎりが一番美味しかったという話です。3.11の時に、食べるものが手に入らなくてですね、渡部勝也さんをお願いしておにぎりだけのおにぎり例会をやった。その時のおにぎりは、涙流しながら食べたという記憶があります。これから楽しい例会、食事、豪華な食事もいいんでしょうけども、みんなが楽しく食べられる食事があればなというふうに思いました。それと、ちょっと地区のほうのお話をさせていただきます。ガバナーノミニデグジネートということで、もう3年後の役の準備に入ってます。今日も、ズームでガバナー経験者の方たちと意見交換会をしました。その内容が、ローリングターゲットとって3年ごとに3年後のあるべき姿と目標を作っていく。それを毎年作るような3年間ずっとやっていきたいと思います、R I ロータリーインターナショナルのほうでもやりましょうということで。単年度で解決できる問題と、あと単年度で解決する問題がありますよというふうなことで、今年からそれが始まりました。今年作る目標は、金田年度で完結してくださいというふうなことなので、ちょっと重い仕事を、目標がちょっと高いんですけども頑張っていきたいと思います。一番大切なのは会員の拡大ということで、白河西ロータリークラブは今のところ、非常に会員の拡大に成功してますので、この事例を各他のクラブにも展開しながらですね、楽しいクラブを作っていけるようなロータリー活動ができるように貢献していきたいと思いますので、皆さんのご協力よろしくお願います。あと、機会がありましたら地区の動きとか、そういうのも報告させていただきますので、よろしくお願います。ありがとうございました。